



Profile
売木村村長
清水秀樹

1953年生まれ、売木村出身。県立農業高等学校を卒業し、10年間養豚業に従事する。1996年売木村議に当選。4期務めた後、2012年売木村長に就任。現在2期目を務める。高校時代は陸上部に所属し、マラソンや駅伝の観戦するのが趣味

巻頭特集 スポーツを通じた村おこし

走る村うるぎ プロジェクトがつくる

村のミライ

信州最南端の村の一つで、準高地に位置する売木村。人口は600人弱と、高齢化と過疎化に悩まされる村に、年間3000人超が訪れているという。活気づいた背景には、あるプロジェクトと「村専属ランナー」の存在があった。



ウルトラマラソンへ転向 実業団から村専属ランナーへ

ウルトラマラソン、という競技を知っているだろうか。強靱な肉体はもちろん、不屈の精神が問われる過酷なレースで、フルマラソン(42.195km)を越える距離を走る。決まった距離を走るものから、一定の時間を目標に走り続けるマラソンもある。

大阪ガスの陸上部に所属し、実業団ランナーとして活躍していた重見高好さんは、故障を機に部を退団。故郷の愛知県岡崎市に戻り、ウルトラマラソンへの出場を目指して調整を始めた。

さらに、高地トレーニングを企画し、場所を選んだのは、標高1415mの茶臼山。中学校の社会科の授業で、愛知県で一番高い山と習った記憶

が残っていた。2012年6月、茶臼山の麓に位置し、温泉や民宿がある売木村で約20日間の合宿をする。

当時、売木村ではあるプロジェクトが動き出そうとしていた。プロジェクトの名は、「走る村うるぎプロジェクト」。標高1000m級の山に囲まれた準高地という環境を生かし、練習や合宿を誘致して、スポーツを通じてまちおこしを図る企画だ。「きっかけは村議時代に見た箱根駅伝の中継です。東洋大学の応援に、新潟県山古志村の住民がのぼりを持って駆けつけていました。合宿で訪れた縁がきっかけと聞き、標高の高い売木村も合宿地に向いているのではないかと、印象に残っていたんです」と清水秀樹村長は振り返る。

同年9月、再び売木村で調整していた重見さんは、村民運動会の長距

予約客でいっぱいといううれしい悲鳴も上がっているという。

売木村がこれほどスポーツ愛好者をひきつけるのは何故だろう。重見さんは村の魅力や、環境と人にあると指摘する。

「売木村は自然のスポーツ施設。山道やあぜ道、アスファルトの道路など、バラエティー豊かなコースが選べます。体が熱くなったら川でアイシングし、すぐにリカバリーもできる。ランニング中、声をかけてくれる住民の方たちの応援も魅力的で、『水分補給にどうぞ』と獲れたての野菜をくれる方もいます」

ランナーは温かく迎えてくれる村民の心を感じ、村民は元氣よく駆けけるランナーに活力をもらおう。互いに

支え合う関係に、プロジェクトが好調な秘訣はあるのかもしれない。

秋に陸上競技場が完成予定 合宿地のメッカを目指して

10月には、今年で3回目となる「うるぎトライアルRUN」を控える。フルマラソン、ハーフマラソン、ノルディックウォーキングの3種目があり、参加者は総勢300人。9月に応募を締め切る予定だったが、5月には定員に達した。参加者の8割が名古屋を占める中、北海道や沖縄、台湾など遠方のランナーも。リピーターが多いのも特徴だという。「大会が終わっても、売木村から離れたくない」「もう少し滞在したい」といううれしい反響をいただいている

ます」と清水村長は胸を張る。

こうした反響の影にも、住民たちによるものがある。イベントを支えるのは、約1000人のボランティア。住民の6分の1がボランティアとして関わるのは、異例の数といえるだろう。住民が積極的に関与するよう企画しているのは、交流を深める場にしたという、清水村長らの思いがある。

「合宿には関わりがない人も、プロジェクトについて理解を深めるきっかけにしてほしい」と重見さんは呼びかける。うるぎトライアルRUNを前に、



起伏を生かしたうるぎトライアルRUNのキャッチコピーは、「日本一過酷なフルマラソン」。交通整理や炊き出し、ランナーの誘導など、さまざまな形で村民が関わっている。コース内の給水・給食所では特産品の提供も



小中学校では毎朝5分間のランニングを実施。身体の成長を促すだけでなく、生涯スポーツとして走る楽しさを伝えている



練習環境をより良くしようと、コースマップや案内看板を作成。コースマップでは、上級者から初心者までニーズに合わせて選べる7コースを紹介している

秋には400mトラックを6レーン備えた競技場が誕生予定だ。完成すれば、下伊那・奥三河で唯一の400mトラック保有地となる。「南信州における陸上競技合宿地のメッカとして、ブランド化していきたい」と意気込む清水村長に、重見さんは「将来的には僕を通さなくても、自由に合

宿へ参加できる形になればうれしい。一選手としては、売木村と一緒にレベルアップしていきたいです」と未来を見据える。人口が少なくても、にぎわいは生み出せる。「走る村うるぎプロジェクト」が、地域活性化のモデルケースといわれる日も遠くないかもしれない。

南信州における陸上競技合宿地のメッカとして、ブランド化していきたい



うるぎ村 YONEX I FEEL GREAT!

Profile
売木村専属ランナー
重見高好

1982年生まれ、愛知県岡崎市出身。中学時代に陸上競技を始めた。実業団ランナーとしてフルマラソンで世界を目指すも、故障を経てウルトラマラソンへ転向。「走る村うるぎプロジェクト」の中心として、トレイルランへの挑戦や教員免許の取得など、知識と経験を磨いている。24時間走の国内最高記録保持者

問い合わせはこちらへ!
売木村役場
村づくり総合推進室
TEL0260-28-2311



売木村キャラクター
うるのすけ